

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」 .....

# たまちゃん通信

平成 31 年 2 月発行 108-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 新春「むかしあそび大会」に参加

### 京・村人お手玉フレンドのみなさん



私がお手玉遊に関わって 20 年余りになります。この新春(1月5日)のイオンモール京都五条での「むかしあそび大会」は、これまでとはまったく違った、新鮮で感動的でした。これまでは、お手玉に興味のある人、マスターしようと思っている人の集まで、時間も決まっていた。

今回は違いました。買い物にこられた方々がタ

ーゲットです。その方々に、お手玉にどう振り向いてもらうかが課題でした。持ち時間も、午前 11 時から午後 5 時までの 6 時間という長丁場です。

そこで考えたのが、11 時、13 時、15 時の 2 時間ずつに分けて行うことでした。それぞれの最初に、お手玉演舞、寄せ玉遊び、ヨーヨーお手玉ダンスなどのパフォーマンスから入り、その後で、参加されたみなさんとの体験遊びやコミュニケーション遊びなどを行うことにしました。



お客様は、お手玉をまったく知らない、お手玉はむずかしいと思っているなど、いろんな方がおられました。3 回に区切った企画が、当たりました。

私たちのパフォーマンスに、目をキラキラさせて前に寄ってくるお子さん、真剣な表情で見つめるお母さん、懐かしそうに見てくださる年配の方の眼差しを感じながら、演技をつづけました。

そうしながら、昔、お手玉の会のみなさんと一緒に、ロサンゼルスへの催しに参加したときのことを思い出しました。お子さんを私たちに預けて買い物に行かれる方、私たちとお子さんたちが遊んでいるのを、やさしい眼差しで見守る方や、カメラに収める方などがおられました。よほど楽しかったのか、3 回とも顔を出してくださった方もおられました。

このイベントを企画した会社の方も「これほど、盛り上がるとは予想していなかった」といっていただき、大満足で帰路につきました。(写真上：仲間のパフォーマンス、写真下：お客様との楽しい遊び)

田舎では 7 日まではお正月です。にもかかわらず、快く参加してくださった仲間と、そのご家族に、心から感謝したいと思います。(京・村人お手玉フレンド世話役 田村節子)